

令和6年度（美術 I） シラバス

教 科	芸 術	科 目	美術 I		
単 位 数	2	学 年	1	類 型	共通
教 科 書	美術 1（光村図書）		/		
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	1 身近なものを描く（絵画）	・身近なものを描くことに関心をもち、形や色、用具の使い方などを理解し、構図を工夫して用具の特徴を生かして制作する。
	2 風景を描く（絵画）	・心引かれる風景をあらわすことに関心をもち、風景から感じ取ったことや自分の思いを表現できるようにする。
	3 文様で飾る（デザイン）	・形や色、構成などを適した材料を用いて工夫して制作できるようにする。
	4 鑑賞（西洋美術）	・西洋美術に関心をもち、西洋美術の歴史が理解できるようにする。
2 学期	5 生命感をあらわす（彫刻）	・身近な動植物などから感じ取った生命感を立体作品として、表現の方法を工夫し創造的にあらわせるようにする。
	6 テーマを決めて撮影する（映像メディア）	・端末用のカメラを使って、構図や被写体の動きに工夫を加えて、人物の撮影ができるようにする。
	7 鑑賞（日本美術）	・日本美術に関心をもち、日本美術の歴史が理解できるようにする。
3 学期	8 想像した世界を描く（絵画）	・想像した世界をあらわすことに関心をもち、現実にはない不思議なことを想像しながら、形や色、構図に工夫をこらして表現できるようにする。
	9 鑑賞（アジア美術）	・アジア美術に関心をもち、日本とアジアとの美術の関連性が理解できるようにする。

評価の観点及び内容、評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・課題プリント
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・課題プリント ・鑑賞プリント
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む態度 ・自己評価